

きれいな町を未来に残すために 半田醸芳小でごみの出し方教室

▶身近でできる「ごみ減量化」への取り組みなどを学ぶ児童の皆さん



町は、半田醸芳小学校4年生の社会科授業の一環として「ごみの出し方教室」を9月12日、同校で行いました。授業では、令和5年度のごみ排出量が令和4年度と比べて減少したことなど、町から出るごみの現状を学びました。児童らは「もやせる

ごみの中でも、菓子箱や紙などは資源となる。積極的に分別したい」と話しました。

町では、町内会や町民団体向けに、「ごみの出し方教室」を随時実施しています。お気軽に生活環境課環境係（☎5822123）までご相談ください。

心とからだをリフレッシュ 家族介護者交流事業

在宅で介護をしている家族などの介護者同士の交流や心とからだのリフレッシュを目的とした家族介護者交流事業が9月13日、三春町で行われ、10人が参加しました。当日は、三春の里田園生活館とコミュニティ福島を訪

れ、日ごろの悩みや介護に対する想いなどを介護者同士で話し合ったり、おいしい昼食を食べたりと、みんなで楽しく癒しのひと時を過ごしました。

次回は、令和7年3月開催予定です。ぜひご参加ください。



▶「コミュニティふくしまで環境について学びながら交流を深める参加者

認知症を考える オレンジ展・ライトアップ

9月の「世界アルツハイマー月間」にあわせ、認知症を考える展示イベント「オレンジ展inこおり」が9月17日から9日間、町民ロビーで開かれました。認知症対応型介護事業所の利用者作品や活動風景の展示、認知症に

関する映像の上映、皆さんの認知症への想いを果たせた木の展示などを行いました。19日からは、旧伊達郡役所を認知症支援のテーマカラーであるオレンジにライトアップ。認知症への理解を多くの人に呼びかけました。



▶認知症に関する情報や認知症本人の作品などを見学する来場者

広 告